

林野労組九州

発行所 熊本市西区京町本丁2の7 全国林野関連労働組合九州地方本部 (電) 096-354-1150 発行者 山口隆志 発行日 10日 定価 1部20円 組合員の購読料は組合費の中に含む

緑を育て、守る、林野労組

当面の活動

- 10月1日 安全祈願(金峰山) 西都児湯大会(書面) 2日 技術センター大会 9日 全国代表者会議(WEB会議) 10日 全国共済理事會(書面会議) 19日 人事院九州事務局 交渉(福岡市) 21日 地本執行委員会 23日 第2回地本役員推薦委員会 28日 地本執行委員会 11月4日 地本執行委員会 11日 地本執行委員会

森林労連共済2021年契約更新

もしもの時に備えを

森林労連共済推進本部は、「2021年1月セット共済継続申込書」の契約更新が進められています。近年、台風、豪雨と自然災害が多発し、多くの組合員が被害を受けている状況となっています。

共済についても増口などの検討をお願いします。

場合は、「2021年1月セット共済継続申込書」の提出は不要です。

該当箇所を訂正し、契約者・印欄に署名押印のうえ、所属(分会)担当者へ提出してください。

詳しくは、所属の担当者まで問い合わせください。

2021春闘の前進に向け「公務・公共部門労働者の生活実態に関する調査」を取組中

森林労連共済推進本部では、2021年1月契約更新期において、自然災害に備え保障が十分かどうか、自身で点検し、万一の際の住宅や家財の再建費用確保のため、「火災共済」の加入と「自然災害共済」の付帯が提案されています。



林野労組は、2021春学生活闘争に向け、公務労協と連携を図り、今後の賃金等労働条件の改善や、当面する重点課題に係る取り組みの基礎資料を得ることを目的に、組合員の生活実態や当面する運動課題についての意識に関して、「公務・公共部門労働者の生活実態に関する調査」の実施について指示を發出し、取組を進めています。

①組合員の生活実態等の把握を行うとともに、公務労協・公務員連絡会としての賃金・労働条件の改善について要求に反映させる。また、今回の調査では

「パワハラ防止措置」「新型コロナウイルス感染症と仕事」「テレワークの活用」について組合員の問題意識を把握し、今後の取り組みに活かす。②春季生活闘争時における総合的な労働条件改善要求(案)等について組織確認を行い、要求書を提出する。③決定された要求については、組合員一人ひとりのものとする。また、職場からの闘いの展開に向け取り組みを進めるとなっています。

今後の活動の方向性を議論

～地本青年女性委員会 第1回常任委員会～

田畑通信員・地本青女

9月12日、地本青年女性委員会は、第1回常任委員会を熊本市で開催しました。今回の常会では、新型コロナウイルスの影響で1名がWEB会議での参加となりました。今回は第1回常会ということもあり、第15回委員長会議で決議された内容に基づき今後の活動の方向性について議論しました。

この先、不安を感じる思いが掘り起こされたところ。開催時期につきましては、未定の段階ではありますが、皆さんの参加をお待ちしています。また、アンケートを近日中に配布させていただきますので皆さんの協力をお願いいたします。

この先、不安を感じる思いが掘り起こされたところ。開催時期につきましては、未定の段階ではありますが、皆さんの参加をお待ちしています。また、アンケートを近日中に配布させていただきますので皆さんの協力をお願いいたします。

今年度の大きな柱は、女性集会の開催です。各常任が案を出し合い議論し、アンケート作成を行いました。

女性職員の採用は近年増加傾向にあり、委員長会議の中でも「先輩方の話を聞いた」「結婚後の通勤関係や出産・育児に関する話を聞いた」

女性職員の採用は近年増加傾向にあり、委員長会議の中でも「先輩方の話を聞いた」「結婚後の通勤関係や出産・育児に関する話を聞いた」

女性職員の採用は近年増加傾向にあり、委員長会議の中でも「先輩方の話を聞いた」「結婚後の通勤関係や出産・育児に関する話を聞いた」

女性職員の採用は近年増加傾向にあり、委員長会議の中でも「先輩方の話を聞いた」「結婚後の通勤関係や出産・育児に関する話を聞いた」

女性職員の採用は近年増加傾向にあり、委員長会議の中でも「先輩方の話を聞いた」「結婚後の通勤関係や出産・育児に関する話を聞いた」

匠の腕 最新、めつきり秋らしさを感ずる様に... 匠の一言 宮崎から元気を (シーガイアリゾートホテル)

匠の腕 最新、めつきり秋らしさを感ずる様に... 匠の一言 宮崎から元気を (シーガイアリゾートホテル)

今後一年の闘いの方針を確認

各分会で定期大会を開催

屋久島

江口通信員・屋久島

屋久島分会は9月5日、森林管理署会議室において、第16回分会定期大会を開催しました。例年来賓等の呼びかけを行い開催していましたが、今回の大会は、新型コロナウイルス対策の一環として来賓も招待せず組合員のみでの開催となりました。



規模を縮小しての屋久島大会

冒頭、吉村分会執行委員長は、「中国が起源といわれる『新型コロナウイルス感染症』の影響で、今年の春先頃から各種会議やミーティングも中止となり、緊急事態宣言解除後も『新型コロナウイルス』はいまだに衰える状況にない。このような中、分会もオルグの中止

岩下分会副執行委員長の開会あいさつに始まり、大会議長に松井、大会書記に山口(強)兩名を選出し議事が進行されました。

福岡

平松通信員・福岡

福岡森林管理署分会は、8月28日に署会議室において、福岡森林管理署分会第16回定期大会を開催し、組合員約20名が参加しました。



分会組合員全員で

その後、スローガン(案)、大会宣言(案)が採択され、最後に高本分会執行委員長の「団結がんばろう」で無事大会を終了しました。

など活動も縮小せざるを得なかったが、1年間の闘いの総括と未来ある発展的な討論をお願いする。」とあいさつ。その後、後藤分会書記長から闘いの経過と総括、運動方針案、岩下副委員長から決算報告、予算案の議案提案があり、質疑討論に入りました。

質疑討論では、未組織者の加入対策等について質疑があり、分会は、より強固な組織態勢確立のため取り組みを進めるとしました。続いて、承認採択が行われ、分会提案の議案、役員選出、大会スローガン、大会宣言についても満場一致で採択・承認されました。

最後に、緒方新委員長による団結がんばろうで大会を終了しました。新役員は以下のとおり
執行委員長 緒方 誠治
副執行委員長 岩下 晃之
書記長 江口 晃
執行委員 諫山雄一郎

北薩

高森通信員・北薩

8月7日、北薩森林管理署会議室において、第17回林野労組北薩森林管理署分会定期大会が開催されました。



分会全体で意思統一

コロナ禍での開催ということもあり、出席者全員のマスク着用、出入り口でのアルコール消毒など感染防止対策を徹底しての開催となりました。

冒頭、戸島分会委員長より、「組合組織の態勢において、全国的に組合未加入者が目立つようになり、今後の組織態勢の確

佐賀

牧瀬通信員・佐賀

9月5日、佐賀分会は署人札室にて第16回分会定期大会を開催し、16名が出席して、今後の闘いに向けた方針を決定しました。

り巻く情勢は厳しいものとなっているが、労働条件の改善・向上に向けて、組合員一丸となって取り組むため、活発な議論をお願いしたい。」とあいさつがありました。本大会では新型コロナウイルスにより来賓の制限があり、九州地本から前川地執の来賓のみとしました。

大会は石田委員長より開会のあいさつ、大会成立宣言が行われ、橋本議長により議事が進行しました。冒頭、石田分会執行委員長が「新型コロナウイルスなどの影響により、私たちを取

り巻く情勢は厳しいものとなっているが、労働条件の改善・向上に向けて、組合員一丸となって取り組むため、活発な議論をお願いしたい。」とあいさつがありました。本大会では新型コロナウイルスにより来賓の制限があり、九州地本から前川地執の来賓のみとしました。

来賓のあいさつ後、執行部より2019年度の闘いの総括、決算報告、2020年度運動方針(案)及び予算(案)の提案があり、討論のち採択されま



分会組合員全員での団結がんばろう

した。役員改正では、新たに、牧瀬和孝書記長及び春田魁登執行委員が執行部に加りました。最後にスローガン・大会宣言の採択が行われ、石田分会執行委員長の団結がんばろうで全日程を終了しました。



あいさつする米本分会執行委員長

立が危惧されています。組織態勢確立を進める上で、それぞれの年代が組織運営にどう関わっていくのかしっかりと議論する必要があります。そして、過去の労働組合の歴史と必要組合員(労働運動の歴史と必要組合員)を伝えていかなければなりません。創意工夫しながら様々な取り組みを行い、引き続き職場内外での取り組みが重要となっています。」とあいさつ。

また、来賓として九州地本より山口執行委員を迎え、激励の挨拶を受けました。その後、橋本議長のスムーズな議事進行により、2019年度経過と総括及び2020年度運動方針について提案し承認・採択を行い、2020年度の運動方針を決定しました。

役員改選では、新たに山部執行委員、後藤執行委員の2名が加わり、新執行体制となりました。最後に、戸島分会執行委員長

の団結がんばろうにより、2020年度運動方針に基づき、一枚岩となり組合活動を展開していく事を組合員全員で確認し、大会を終了しました。

大隅

鶴山通信員・大隅

9月4日に第16回大隅分会定期大会を開催しました。九州地方本部より加藤書記長に来ていただき、挨拶をいただきました。



今後1年間の運動方針を全体で確認

今大会にて、新型コロナウイルスへの対応、そして定員要求の課題から、これからの業務のあり方、働き方の改善に向けて取組を進めていくことを確認しました。また、組織運営についても、各種運動への積極的な参加、組合活動を進めるにあたってできることを、確実に一つずつ進めることを確認しました。

これからの大隅分会を組合員一人一人が団結して、一枚岩となり取組を進めていくこととし、団結がんばろうにて閉会しました。

あの人とあの人

「愛煙家から愛走家へ」

緒方省一郎さん(熊本南部分会)

今回、熊本南部分会からは今年度で現職最後の1年とされた緒方省一郎さんを紹介いたします。緒方さんはこれまで土木・治山を長年担当され経験・知識も豊富で現在においても、業務グループ土木担当(ベテラン)として日々の業務に取り組んでおられます。趣味は以前宮崎署へ転勤されたのを機に5年前からマラソンを始められ、これまで各地の大会にも参加し走られておられます。それまでは走る(ことが一番嫌いなことだった)とそうでタバコもその際に休止され何の禁断症状?もなく

愛煙家からきつぱりと足を洗えたとのこと。ただ、今年度は新型コロナウイルスの影響で各地の大会の中止が相次ぎました。7月の豪雨により練習場所としていた運動公園等も仮設住宅が建ち走る場所がないのが悩みだそう。あと、もう一つの趣味であるバイクによるツーリングも以前は九州外へも行かれていたそうですが、マラソンと同様に新型コロナウイルスの影響により今年度は遠出することなく数えるくらいしか乗れていないとのこと。今後は体が動かせて環境にも優し



走る仲間たちとの1枚(緒方さんは前列1番右)

自転車のバイク(ロードバイク)も始めてみたいと思っています。退職まで約半年となられましたがこれまでの経験等を基に我々後輩を指導・助言していただき更なるご活躍を組合員一同願っております。